

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	認知症高齢者見守り事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	介護高齢課		包含する細々目	5	5	2	1	50	5	1,402
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	35 高齢者福祉の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	高年齢保健福祉計画・介護保険事業計画					
		事業期間	12	年度～	年度	関連計画 条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	認知症高齢者	要支援・要介護認定者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			5582	6000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	認知症高齢者が安心して地域で暮らせるようになる。	学習会・研修会参加者の累計 / 市民 × 100	18目標	0.4	最終目標	
			18実績	0.4	19目標	0.8
		23目標	2	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・認知症に対する家族、地域住民の偏見や無理解の解消を図るため、講座や学習会を開催し啓発活動を行う。 ・認知症高齢者に関する知識を備えた方が居宅を訪問し見守りや話し相手をする経費の一部を補助する。	・認知症学習会を各地区で開催する。10000円 × 20地区 + 全体50000円 ・認知症高齢者の見守り経費を補助する。20人 × 600円 × 8時間 × 12ヶ月	認知症学習会 認知症研修会 見守り派遣登録者 利用延べ時間	22回 445名 3回 183名 12名 133.5時間
	18年度の実績			
	19年度計画	認知症に関する知識を備えた方を多数養成していく。	認知症学習会 見守り派遣登録者	20回 20名

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金	133	567
	県支出金	66	283
	起債		
	その他		
一般財源	131	552	
事業費計(A)	330	1,402	
人件費	正規職員所要時間	18年度 112	19年度 112
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	401	401
	トータルコストA + B	731	1,803

特定財源内訳や補足事項	地域支援事業交付金の任意事業 国40.5% 県20.25% 市20.25% 1号保険者19%
-------------	---

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせている高齢者の割合	現状値	59.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>認知症高齢者が増加しているが在宅の支援事業が少ない。18年度の介護保険法改正で地域支援事業が新たになり事業展開が可能となった。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>認知症高齢者が増加しているが、介護保険には話し相手や見守り等のサービスが認められていない等在宅での支援が少ない。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>第二期の介護保険事業計画策定懇話会で要望がでている。</p>
--	--	--

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>認知症高齢者が他の人と安心して接する機会が増え、脳が活性化される。また地域の支えも加わり要介護度の進行を防ぐ。</p>	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>有償ボランティアの育成をすることで、負担の少ない利用しやすい事業にする。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>認知症に対する偏見や無理解が十分に解消されていない</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>認知症高齢者を介護する家族の負担が増す</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p>		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由)</p> <p>社協ファミリーサポート・ボランティア事業があるが、本事業に対応できる体制になっていない。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>常時介護が必要となる重度の認知症高齢者にたいして、介護保険給付外になる見守りの部分を補助することで、昼夜介護をしている家族を支援する。</p>		効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>専門性が求められるため、不可能</p>
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <b>妥当でない</b> (受益者とその理由)</p> <p>限度額以上は個人負担である。訪問介護事業所の有償サービスを利用しており、利用者の負担は大きい</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2023</span></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; color: green; font-weight: bold;">具体化</p>	<p style="text-align: center;"><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>23年度までに有償ボランティアを育成・組織化する事業所を支援し、自己負担の軽い事業所を利用者が選択できるようにする。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>認知症見守りケアは、有償ボランティアで行うには専門性の上でリスクが伴う。社協でもファミリーサポートでは対応困難として有償ヘルパーが担当している状況。NPO等で積極的な取り組みに期待したいが、活動を継続していける補助単価の設定が必要となる。</p>
--	--

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	